プログラミングD Java講義 第4回:バージョン管理ツール

肥後芳樹

プログラミング中によくあること

- 高速化しようとしたがうまくいかなかった...
 - 元に戻したいがバックアップしていない...
 - バックアップはしていたけど、大量に有りすぎてどれを使えばいいかわからない...
- デバッグのため修正を繰り返していたら、今まで動いていた部分も動かなくなってしまった...



過去の動いていた状態に戻したい!

バージョン管理ツール

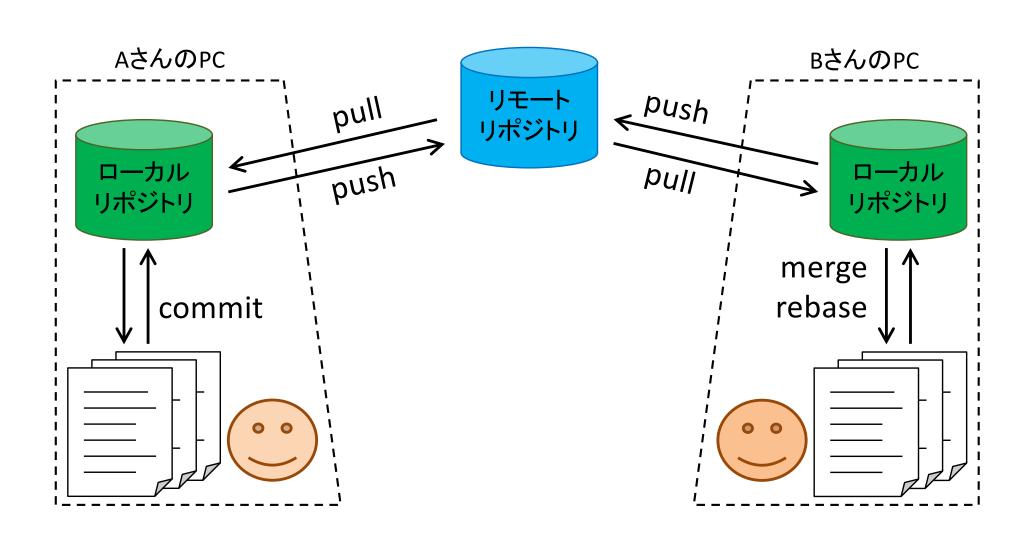
- プロダクト(ソースコードやドキュメント)の変更履歴を管理する ツール
- 過去に加えられた変更を記録している
- コメントを入力しておけば、変更の意図や変更の概要も把握できる
- 過去のバージョンを取り出したり、現状との差分を確認したりできる
- 複数箇所で作業をしてもソースコードを一元管理できる
- 複数人で開発する場合に、手作業による集約作業(各人の変更点をまとめる)をしなくていい
 - 競合が発生した場合は手作業が必要



- 分散型バージョン管理ツール
- Linuxカーネルのソースコード管理のために、 Linus Torvaldsよって開発された

- Gitクライアントの実装
 - Windows: TortoiseGit, cygwin上のgit
 - Eclipse: EGit

gitのイメージ図



ソースコードは3箇所に存在

- 前提
 - プログラムのルートディレクトリ: /home/higo/prod/
 - ソースファイル: /home/higo/prod/src/HelloDate.java
- ワーキングディレクトリ: /home/higo/prod
- ローカルリポジトリ: /home/higo/prod/.git
- リモートリポジトリ: 通常はGitHubやBitbucket
 - − 授業では、GitBucketを使う
- 名前が長いので、以下のように省略します
 - ワーキングディレクトリ: WD
 - ローカルリポジトリ:LR
 - リモートリポジトリ:RR

$RR \rightarrow LR+WD$

- 皆さんのリモートリポジトリを置く場所は以下のURL
 - https://dev.ics.es.osaka-u.ac.jp/gitbucket/
 - ログインしてみて下さい
 - ログイン後、画面左側に prod というリポジトリが見えるはず
 - prod をクリックしてみてください
- prod をcloneする(手元に持ってくる)
 - git clone https://dev.ics.es.osaka-u.ac.jp/gitbucket/git/higo/prod.git

httpではなく、https

皆さんの場合は学籍番号

$WD \rightarrow LR, LR \rightarrow RR$

- まずはWDの状態を確認することが大切
 - git status
- WDの内容をLRに反映
 - emacs src/HelloDate.java(
 - git add ファイル名
 - git status

git status したときに、緑で表示されたファイルは git commit でLRに反映される、赤で表示されたファイルは、LRに反映されない

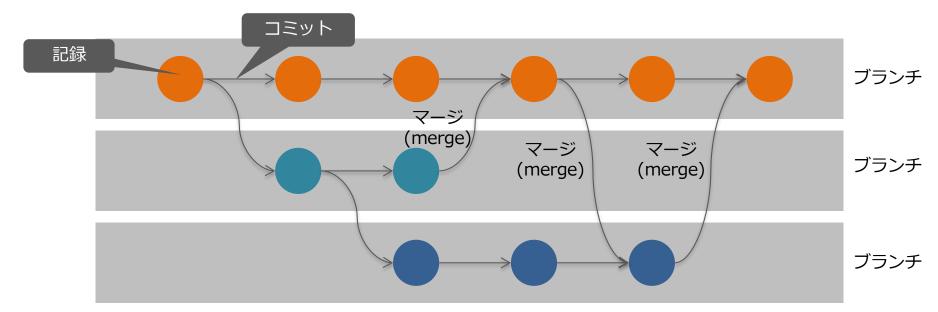
- git commit -m "その変更を表すメッセージ"
- LRの内容をRRに反映
 - git push
- RR をブラウザで確認(pushした内容が反映されているか)
 - https://dev.ics.es.osaka-u.ac.jp/gitbucket/

git commit でエラーが出た人は

- ローカル環境のgitでメールアドレスとアカウントの情報を設定していないことが原因
- 以下のコマンドを実行してください
 - git config --global user.email "09BXXXXX@localhost"
 - git config --global user.name "09BXXXXX"
 - ただし、09BXXXXX は自分のアカウント名に読み替えること

複数の歴史(ブランチ)

- コミットごとに記録が取られる
- 別のブランチに分岐できる
 - いくつでも分岐できる
 - すきなところから分岐できる
- 分岐したブランチを統合(merge)できる



ブランチの利用方法: PR駆動型の開発

- PR: Pull Request
 - RR の或るブランチから RR の master に向けた「自分の変更 を取り入れてほしい」というお願い
 - master: 最初から存在するブランチ
- 各機能の実装は個別ブランチで行う
- masterには、完成した機能のみを追加していく

ブランチ作ってみましょう!

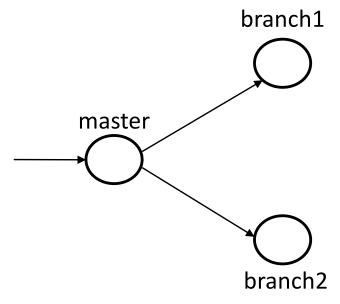
- まずは現在自分がどのブランチにいるか確認
 - git branch
- 新しいブランチ(branch1)を作り、そこに移動
 - git checkout -b branch1
 - git branch
- ファイルを変更し, add, commit, push する
 - emacs src/HelloDate.java
 - git add src/HelloDate.java
 - git commit -m "change in branch1"
 - git push

もう1つブランチを作りましょう!

- いったん, masterにもどる
 - − git checkout master

これ大切!これがなかったら, branch2は branch1から枝分かれしてしまう

- 新しいブランチを作り、そこに移動
 - git checkout -b branch2
 - git branch
- ファイルを変更し, add, commit, push する
 - emacs src/HelloDate.java
 - git add src/HelloDate.java
 - git commit -m "change in branch2"
 - git push



RRの Webで PRを作成し、マージ

- 今回は、一人でやっているので、PR の作成とマージは どちらも自分自身で行う
 - 多人数開発の場合は、通常はPRの作成とマージは異なる開発者が行う
- PR駆動型開発は、PBL(ロボコード)でめっちゃ便利
 - Aさんは機能1を実装しPRを作成、Bさんは機能2を実装しPR を作成、...
 - CさんはAさんのPRを確認し問題なさそうであればマージ, ...

Conflict (競合)

- 複数の人が同じ場所(同じファイルの同じ行)を変更 してしまった状態
- Conflict が起こった場合、Gitは自動でコードをマージできないので、手動で行う必要あり

Conflict を(わざと)発生させてみる(1/3)

これ大切!これがなかったら, conflict2は conflict1から枝分かれしてしまう

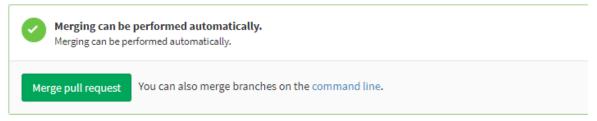
- 現在どのブランチにいるか確認
 - git branch
 - git checkout master(masterでない場合)
- 新しいブランチ(conflict1)を作り、そこに移動
 - git checkout -b conflict1
 - git branch
- ファイルを変更し, add, commit, pushする
 - emacs src/HelloDate.java
 - git add src/HelloDate.java
 - git commit -m "change in conflict1"
 - git push

- いったん, masterにもどる
 - git checkout master
- 新しいブランチ(conflict2)を作り、そこに移動
 - git checkout -b conflict2
 - git branch
- ファイルを変更し, add, commit, pushする
 - emacş src/HelloDate.java
 - git/add src/HelloDate.java
 - gi⁄t commit -m "change in conflict2"
 - git push

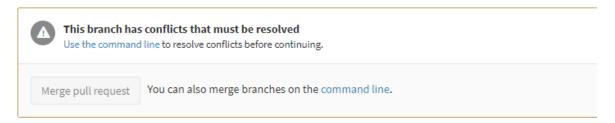
同じ行を変更すること!

Conflict を(わざと)発生させてみる(2/3)

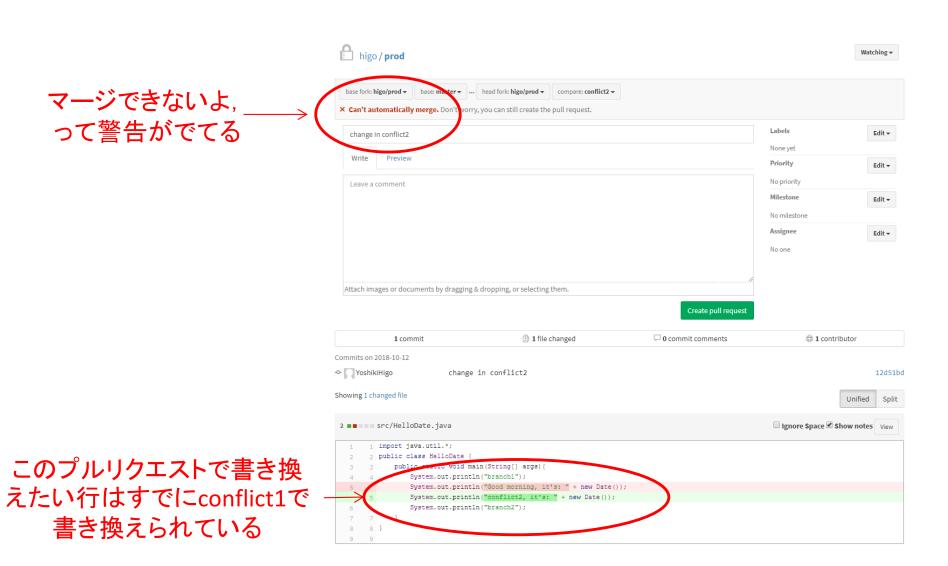
- GitBucket のページを開く
- conflict1のPull Request を作成して、マージ
 - これはできるはず



- conflict2のPull Requestを作成して、マージ
 - これはできないはず
 - conflict2で書き換えようとした行は,conflict1でも書き換えられてしまっている



Conflict を(わざと)発生させてみる(3/3)



conflict の解消方法

- マージ先のブランチ(今回の場合はリモートリポジトリのmaster)の変更内容を、手元(今回の場合はローカルリポジトリのconflict2)に取り込む
 - git branch
 - git pull origin master (originはリポジトリ, masterはブランチを表す)
- 手動でコードをマージして, add, commit, push
 - emacs src/HelloDate.java
 - git add src/HelloDate.java
 - git commit (-mオプションつけない, viが起動したらShift+Zを二回押す)
 - git push
- GitBucket に移動し、プルリクエストを作成し、マージ

pull したときにconflictが発生している ことを教えてくれている

<<<<< と>>>>>> で囲まれた範囲が conflictが発生している箇所

```
$ cat src/HelloDate.java
import java.util.*;
public class HelloDate {
    public static void main(String[] args){
        System.out.println("branch1");

<<<<< HEAD
        System.out.println("conflict2, it's: " + new Date());

======
        System.out.println("conflict1, it's: " + new Date());

>>>>> 520fd996ba4d77fb3345e8a328e5f3659cd1cdhb
        System.out.println("branch2");
}
```



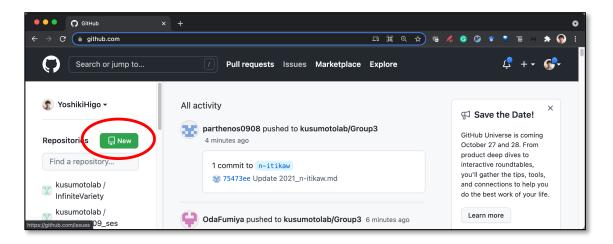
- Gitホスティングサービスの草分け的存在
- publicリポジトリとprivateリポジトリ
 - publicリポジトリ:リポジトリ内のコードを誰でも閲覧可能
 - privateリポジトリ:プロジェクトメンバーのみ閲覧可能

ローカルリポジトリを作る

- 以下のコマンドを実行し、ディレクトリとファイルを作る
 - mkdir newprogram
 - cd newprogram
 - touch new.java
- リポジトリを作る
 - git init カレントディレクトリがワーキングディレクトリになる. カレントディレクトリに".git"が作成される.
- 作成したファイルをリポジトリに反映
 - git add .
 - git commit -m "first commit"

A

リモートリポジトリをつくる

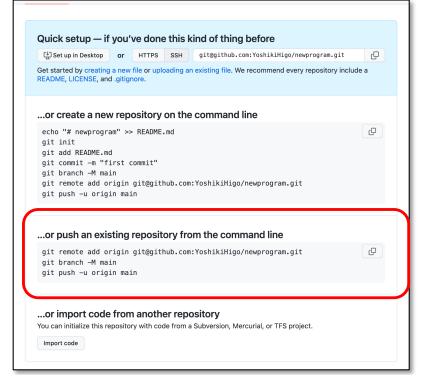


A repository contains all project files, including the revision history. Already have Import a a project repository elsewhere? repository. Owner * YoshikiHigo newprogram Great repository names are orable. Need inspiration? How about jubilanthappiness? Description (optional) Public
Anyone on the internet can see this repository. You choose who can commit Private
You choos no can see and commit to this repository. Initialize this repository with: Skip this step if you're importing an existing repository. This is where you can write a long description for your project. Learn more. ☐ Add .aitianore Choose which files not to track from a list of templates. Learn more. ☐ Choose a license A license tells others what they can and can't do with your code. Learn more

Create a new repository

B

C



.gitignore

- git で管理したくないファイルがある場合に利用する
- .gitignore も git で管理する

拡張子が.classや.logのファイルを 無視するための設定

```
# Compiled class file
*.class

# Log file
*.log
```